

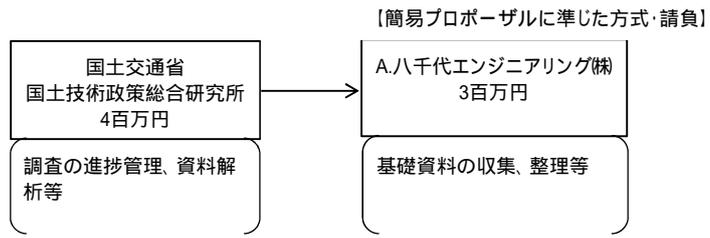
平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	アジア国際フェリー輸送の拡大に対応した輸送円滑化 方策に関する研究		<b>担当部局</b>	国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)		<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・ 終了(予定)年度</b>	H22/H25(予定)		<b>担当課室</b>	港湾システム研究室/港湾計画研究室		室長 渡部富博				
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	44 技術研究開発を推進する						
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、 通知等</b>	-						
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	アジア地域と日本の各地域を結ぶ国際フェリー輸送について、港湾施設の基準策定に関わる技術資料とりまとめ、国際フェリー航路網の予測や地域へのインパクト評価ツールの開発、それらを用いた国際フェリーのゲートウェイ港湾の比較検討、関連する施策評価を行う。									
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	我が国を中心とする東アジア地域の国際フェリー、RORO船の就航船舶、航路サービスの概要、対応する港湾施設の諸元などに関する資料の収集整理などを行うとともに、国際複合一貫輸送に関わるサービス水準の比較を行う。さらに、国際輸送における輸送手段、輸送経路を選択する貨物流動モデルの開発ならびに、国際フェリー貨物増による地域経済への波及効果算定に関する検討を行い、国際フェリーのゲートウェイ港湾の比較検討、複合一貫輸送のシームレス化に関わる施策の定量的な評価などを行う。 平成22年度:簡易公募型プロポーザル方式に準ずる方式による業務1件(東アジア地域のフェリー航路網・船舶・港湾施設の資料収集整理、輸送サービス水準の比較等)									
<b>実施方法</b>	直接実施		業務委託等		補助		貸付		その他	
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	-	-	4	6	6			
		補正予算	-	-	0					
		繰越し等	-	-	0					
		計	-	-	4	6	6			
	執行額		-	-	4					
	執行率(%)		-	-	100					
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	国際フェリー対応港湾施設の港湾の技術基準への盛り込み、国際物流に関わる施策の評価。定量的な成果指標については、研究のため示すことができない。				達成度	%				
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	国際フェリーの標準船型、国際フェリーならびにRORO船の貨物量予測や貨物増などによる地域経済への波及効果算定モデルの構築。定量的な活動指標については、研究のため示すことができない。							( )	( )	
<b>単位当たり コスト</b>	(円/ )			算出根拠	成果実績及び活動実績の定量的な指標が示せないため、単位あたりコストについても示すことができない。					
<b>平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由						
	試験研究旅費	0	0							
	外国旅費	1	1							
	試験研究費	5	5							
	計	6	6							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業に対する国総研研究評価委員会の評価結果を踏まえ、研究課題の目的、研究の成果と活用方針、研究体制等の観点から事業内容についても見直しを行うなど、効率的な予算執行に努めていくこととしている。</p> <p>なお、調達については、これまでも入札監視委員会を設置し、契約状況の点検・見直しを行う等の取り組みを行っており、引き続き、適切な予算執行の確保を図ることとしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		他機関との連携・情報共有化等を図り、業務の効率化を目指すべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
本省との連携を図るとともに、成長戦略等を踏まえ、重点的に事業を実施することとした。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

平成22年度実績を記入



旅費  
1百万円

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

A.八千代エンジニアリング(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	直接経費・技術経費・諸経費	2			
人件費	調査職員	1			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	八千代エンジニアリング株式会社	国際フェリー航路、船舶、サービス水準、港湾施設に関する資料収集	3	1	98.97
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					